

令和 2 年 6 月 30 日現在

機関番号：21301

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2017～2018

課題番号：17H06983

研究課題名（和文）地域包括ケアシステムにおける病院看護部門と自治体との連携に関する研究

研究課題名（英文）Collaboration between nursing department of hospital and local government in community care system

研究代表者

石原 美和 (Ishihara, Miwa)

宮城大学・看護学群（部）・教授

研究者番号：10803976

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,070,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、地域包括ケアシステムの構築にむけて、その主体である市町村における先駆的な看護専門職人材の活用事例を抽出し、その具体的内容を明らかにした。市町村等が、地域における看護専門職人材の活用は、病院への事業委託が主に実施されていた。産後ケア事業や病児保育、地域包括支援センター、在宅医療介護連携相談支援センター等の組織を含めた事業と、市町村事業への看護職員の派遣している形態（例えば、介護保険認定審査や介護予防教室）だった。これらの委託料や人件費は、自治体からの交付金、基金の活用等により、各市町村が定める要綱に基づいていた。市町村委託事業による看護職員の戦略的配置換えの実施があきらかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

医療介護総合確保推進法の改正や、介護・診療報酬改定から、市町村は地域包括ケアシステムの構築に、専門職人材を抱える病院の活用は避けられないことが明らかになり、今後は、高齢者だけでなく、母子や障害者施策も含めた街づくりの視点から、病院においても地域における役割を再考すべき時期にあることが示唆された。

看護管理学と地域看護学をクロスオーバーする研究領域が、近年の制度改正からは重要であり、自治体と病院の双方の視点から分析した看護研究として新規性がある。

研究成果の概要（英文）：In this study, we extracted the use cases of pioneering nursing professional human resources in municipalities that are the subject of the comprehensive community care system, and clarified the specific contents. Municipalities and other prefectures mainly outsourced their business to hospitals for the use of nursing professional human resources in the community. It was a form of dispatch of nursing staff to municipal businesses (e.g., long-term care insurance certification examination and nursing care prevention class) including organizations such as postpartum care business, childcare for sick children, community comprehensive support center, and home medical care cooperation consultation support center. These commission fees and labor costs were based on the outlines established by each municipality through grants from local governments, utilization of funds, etc. It became clear the implementation of the strategic relocation of nursing staff by municipal consignment project.

研究分野：基礎看護学

キーワード：地域包括ケア 病院看護 市町村 委託事業 看護職員派遣

## 1. 研究開始当初の背景

2006年に地域包括支援センターが創設され、市町村主体の地域包括ケアの仕組みづくりが開始されてから11年が経った。一方で2014年に医療介護総合確保推進法の改正とともに地域医療構想が打ち出され、病院の役割分担と連携についての検討が都道府県を主体として進められている。

しかしながら、病院看護部門は、日常的な市町村との付き合いがないため、地域包括ケアへ参画するための具体策に至っておらず、地域包括ケア病棟を一部病棟で開設し運営することが、地域包括ケアと考えられていることも多い。

## 2. 研究の目的

本研究では、地域包括ケアシステムの構築の主体である市町村等が、地域における看護専門人材を活用している先駆的取組について明らかにする。そして、これらの連携に関する自治体からの交付金、基金の活用状況について明らかにすることが目的である。

## 3. 研究の方法

平成27年度に実施した先行研究で収集したデータから、地域包括ケア関連事業に病院看護部門が関与している市町村を抽出した。抽出された市町村に対して、ヒアリング調査を実施した。調査期間は、2018年6月～2019年2月。ヒアリング内容は、自治体が病院へ委託する地域包括ケア関係事業における看護職員の関与について、自治体が行う各種事業への看護職員の派遣について、その他自治体と病院看護部門訪問看護ステーションとの連携について、事業に対する財政的な措置（自治体からの交付金、基金の活用等）の実態についてである。

倫理的配慮としては、ヒアリング対象市町村に対して、事前に、研究の目的、方法を書面にて説明し、連携のある病院看護部門とともに、ヒアリングに協力を得ることができる場合は、郵送で同意書の返送があった市町村を対象とした。研究で得られたデータは、個人や市町村が特定できないよう匿名化した。

## 4. 研究成果

調査対象市町村は、3市町村（一般市2、中核市1）だった。そして、市町村と病院看護部門における共通する3つの取組を見出すことができた。

### （1）病院看護部門の地域へ向けた事業の展開

3市町村における病院は、2014年度診療報酬改定を受けて、高齢者人口の推移や地域の医療・介護資源等の外部環境をアセスメントした上で、急性期病棟を地域包括ケア病棟や回復期リハ病棟へ機能の見直しを図っていた。重症度、医療・看護必要度の要件達成が難しく、病床稼働率も停滞していたため、地域での需要に合うように病棟機能の見直しを行っていた。

同時に、訪問看護ステーションを開設したり強化したりしていた。24時間対応体制をとり、365日24時間の看護を提供していた。また、病院としても、在宅医療を行う診療所への後方支援の体制を整備して、在宅療養後方支援病院（200床以上）・在宅療養支援病院（200床未満）を届出していた。

これらの病棟の転換にかかる改修経費は、県から医療介護総合確保基金が交付されていた。訪問看護ステーション開設時の改装費やモバイル端末については、市町村から基金が交付されていた。

### （2）看護職員の配置換え等による活用の方法

地域包括ケア病棟や回復期リハ病棟の転換により、病院看護部門では、看護職員の配置換えが行われ、訪問看護ステーションや地域連携室へ配置が強化されていた。

地域連携室は、地域と院内のコントロールタワーとなっていた。入院依頼への対応で、診療所医師や訪問看護師らから電話で情報把握をし、各病棟の状況も把握した上で、どの病棟へ入院させるかを調整していた。また、日頃からの紹介・逆紹介の関係にある医療機関やケアマネ事業所、地域包括支援センター等とは丁寧な連携が求められるため、訪問看護師や認知症にも精通したベテランの看護師を地域連携室長に配置していた。

また、認定看護師が地域の訪問看護ステーションやグループホーム等の求めにより、個別患者のコンサルテーションのために訪問し、地域医療・介護従事者への研修会で講師を務めるなどの地域貢献をしていた。認定看護師の地域への活動は、すでに、2014年の診療報酬の改定で、皮膚・排泄ケアやがんに関連する認定看護師による同行訪問の診療報酬（12,850円/月1回）が創設されており、活動の経済的な裏付けがあった。

A病院では、地域連携室の看護師が、退院後の患者を訪問して訪問看護ステーション等へ丁寧に引き継ぐなどの活動をしていたが、2016年の診療報酬の改定では、さらに病院看護職員が退院時に患者宅への訪問指導することが評価された（退院支援加算1）ため、病院の看護職員の在宅療養に関する理解が深まり、退院後の生活に沿った看護が提供されたことが示唆された。

### (3) 地域包括支援センターとの連携と市町村の事業委託としての連携

地域包括ケアシステムにおいては、市町村が生活圈域ごとに設置している地域包括支援センターが、地域包括ケアの要となる機関である。A病院とB病院は、1か所の地域包括支援センターと相対する関係で連携し、病院が院内の会議室を提供して、病院職員も出席するなどの連携をとっていた。Cは3か所の地域包括支援センターにまたがる圏域のため、それぞれの地域包括支援センターと付き合い、院長と地域包括ケア推進センター長が会議や懇親会へ参加して、顔なじみの関係を構築する努力を行っていた。地域包括支援センターは、住民にとっては介護の相談窓口となっており、病院は、地域包括支援センターから頼りになる相談先となっていた。地域のケアマネージャーや介護事業所との関係も、地域包括支援センターを通じて広がっていた。

また、市町村事業を委託することは、最も具体的な市町村と病院の連携であり、全ての市町村は、病院へ要介護認定調査を委託していた。市町村は、介護予防事業へのリハビリ職員の派遣等を検討していた。専門職を多く抱える病院は、市町村事業への協力を期待されていることが明らかになった。

以上、地域包括ケアに取り組む3つの市町村と病院に共通する活動を抽出した。病院側は地域においてどのような役割を求められているのかを検討し、病棟の機能の見直しをすることがきっかけとなっていた。そして、訪問系の事業を併せて行うかどうか、地域の状況に応じて検討を進めていた。看護管理者としては、病棟や地域連携室、訪問看護部門の看護師や認定看護師が試行的に地域へ出ることで、地域の状況が見えることにもなり、自院の向かうべき方向性が認識できていた。

### (4) 総括

医療介護総合確保推進法の改正や、診療報酬・介護報酬の改定からは、病院は地域へ目を向けて、在宅医療を担う医療・介護関係者に対して支援を行う役割が期待されていた。時代の要請は病院の看護についても、在宅や地域へ出向くことに及んでいた。

限られた専門職人材で地域包括ケアシステムを構築するには、市町村では、高齢者だけでなく、母子や障害者施策も含めたまちづくりの視点から、専門人材を抱える病院に対して、事業委託という形で、事業の実施を行い、地域包括ケアシステムの構築が進められていた。病院の看護管理者らが、それぞれの市町村担当者らと協議する機会を積極的に持ち、病院においても地域における役割を再考する必要があることが考察された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>石原美和                           | 4. 巻<br>1           |
| 2. 論文標題<br>中規模病院の地域包括ケアへの参画に関する具体的支援について | 5. 発行年<br>2017年     |
| 3. 雑誌名<br>大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会報告書      | 6. 最初と最後の頁<br>45-51 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし            | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）    | 国際共著<br>-           |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>石原美和                                   | 4. 巻<br>21           |
| 2. 論文標題<br>地域包括ケアシステムにおける病院看護部門の参画と自治体とお連携に関する研究 | 5. 発行年<br>2019年      |
| 3. 雑誌名<br>地域ケアリング                                | 6. 最初と最後の頁<br>97-101 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                    | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難           | 国際共著<br>-            |

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

|  |
|--|
| <a href="https://researchmap.jp/ishiharam">https://researchmap.jp/ishiharam</a><br><a href="http://myu-kansen.jp/teacher.html">http://myu-kansen.jp/teacher.html</a> |
|--|

6. 研究組織

| 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号) | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|